シートNo. 0434101	事務事業名	経営戦略に関する事	<u>務</u>	部·課·係	都市建設部	下水道課	管理係	
事業No . J004201	開始年度	平成28年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P2033	作成責任者 下水道課長		1/2ページ

		業において、経営戦略に基づ	びく計画的経	営を推進す	することで、将	来にわたり	事業を安定的に	継続することを				R03年度	R04年度	/
	目的とする	0.									当初予算			
事業の目的											補正予算			
									予算額・	予算				
	今後の人	口減少、施設老朽化による	更新費用のt	単大等によ	n経堂環谙	が厳しさを増	すことが予想さ	h.る由 経堂	執行額	状況				
		定と定期的な見直しを行うこ							(単位:千円)	17776	予備費等			
	定め、下水	k道事業の効率化と健全化	を図る。						ν-μ. 1137		計	0	0	
事業概要												U	U	
											執行額			
											執行率(%)			
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
		団体の財政の健全化に関す									庫支出金			
		成26年8月29日付 総財公 向けた取組の推進について(県	支出金			
		可いた取組の推進についての留 ナた取組の推進についての留					.担争未にのいる)以义悟追迴		使	用料•手数料			
쁘지국	IL IDICIPII	ハウベルボヘン 正元に つか、この田	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	IH-T/71	- HIJ 771	ル左叩/ 寸					担金·負担金等			
							R05年度	R06年度			<u>产工 八二二寸</u> 産収入	1		
活動目標及び		経営戦略の策定・見直しに		単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			入金			
活動実績1	活動指標	向けたデータ整理、更新等の 実施状況	活動実績	件	0	0					<u>火显</u> 収入			
(アウトプット)		大肥水ル	当初見込	件	1	1	1	1			越金			
							R05年度	R06年度			<u> </u>			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			般財源			
活動実績2	活動指標		活動実績						予算内訳	-	計	0	0	
(アウトプット)			当初見込						(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
				単位	R03年度	R04年度			(4-1-111)		200			
			単位当たり											
単位当たり			コスト	円	0.0	0.0								
		モ料・人件費(円)/ 直し等件数(件)												
			計算式	X/Y	0/0	0/0								
			لرا											
	***	経営戦略を策定し、以後少		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		<u> </u>				
	成果目標	なくとも5年に1回の見直しを 行う。	<u> </u>	111			- 年度	- 年度		<u> </u>				
-A = = = = = = = = = = = = = = = = = = =			成果実績	件	0	0		-						
成果目標及び 成果実績1	成果指標	経営戦略の策定・見直しの 実施状況	目標値 達成度	件 %	0	0		_		 				
「アウトカム)		大肥 状况	连队员	%0	U	U		_			計	0	0	
()) [() [補足説明	平成28年度から令和7年度ま	での期間の経	営戦略を策	定済み。以後	を少なくとも5年	に1回の見直しか	必要		正職員		0.01	0.01	
	#8 #hn V I	┃ して用いた 下水道事業にお	143 旧士様生	※エルに6	1/+た Ho 48 の H	生半についての	留意事項(令和	ケストコロム		再任月		0.01	0.01	
		·9名(出典) 事務連絡) 等	いる収入悟坦	1回11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11	ハンでおが取りが	EJEに Jいての	田忌爭模(下和	4/月22日刊	投入工数		T度月額	0		
							中間目標	目標最終年度	(単位:人)		丰度日額 丰度日額	0		
	成果目標			単位	R03年度	R04年度	年度	年度		計		0.01	0.01	
			成果実績					. ~	人件	費合調	十(千円)	74	74	
成果目標及び			目標値							費用(74	74	
成果実績2	成果指標		達成度	%							正(千円)			
												1	7.4	
(アウトカム)	4# C =# 00								総貫用(十)	ロンベノ	人件費等修正後	74	74	
	補足説明								総實用(十	円)※/	人件實等修止後	74	/4	
	根拠とし	して用いた タ名(出典)							総貫用(十	<u>11) % /</u>	· 件實等修止後	<u> </u> 74	/4	

	0434101		経営戦略に関する事				都市建設部	下水道課	管理係	
事業No.	J004201	開始年度	平成28年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P2033	作成責任者	下水道課長	2/2ページ

	項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善				
	坝日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明				
4	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	0	経営戦略は、下水道事業の計画的経営を推進し、将来にわたり事業を安定的に継続する上で必要なものであるため、社会のニーズを反映している。	0	経営戦略は、下水道事業の計画的経営を推進し、将来にわたり事業を安定的に継続する上で必要なものであるため、社会のニーズを反映している。				
単の必	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	Δ	経営戦略の策定・見直しに関するデータ整理、更新、推計等の業務委託は可能である。	Δ	経営戦略の策定・見直しに関するデータ整理、更新、推計等の業務委託は可能である。				
4	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	経営戦略に基づき、適正な受益者負担と租税負担を定め、下水道事業の効率化と健全化を図るものであるため、必要である。	0	経営戦略に基づき、適正な受益者負担と租税負担を定め、下水道事業の効率化及び健全化を図るものであるため、必要である。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	令和4年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。	-	令和3年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。				
	競争性のない随意契約となったものはないか。								
ļ	受益者との負担関係は妥当であるか。 	-	令和4年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。	-	令和3年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。				
不の対	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	令和4年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。	-	令和3年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。				
車性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され ているか。	-	令和4年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。	-	令和3年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	令和4年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。	-	令和3年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。				
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	_	令和4年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。	-	令和3年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。				
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	-	令和4年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。	-	令和3年度は、経営戦略の見直し等を行えなかったため、収支は生じていない。				
•	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	令和4年度は、経営戦略の見直Uに向けたデータ整理、更新等を行えなかった。	-	令和3年度は、経営戦略の見直しに向けたデータ整理、更新等を行えなかった。				
· 単 の	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	令和4年度は、経営戦略の見直Uに向けたデータ整理、更新等を行えなかった。	-	令和3年度は、経営戦略の見直しに向けたデータ整理、更新等を行えなかった。				
有划	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	令和4年度は、経営戦略の見直しを行えなかった。	-	令和3年度は、経営戦略の見直しを行えなかった。				
9	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	Δ	当初策定した経営戦略の見直しを行えておらず、内容が実態に即していない部分があるため、見直しを行った 上で活用する必要がある。	Δ	当初策定した経営戦略の見直しを行えておらず、内容が実態に即していない部分があるため、見直しを行った 上で活用する必要がある。				
y is a p	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名 財政課 連番 J000069 事業名 財政計画策定事務	0	財政計画策定事務は、下水道事業を含めた市全体の財政計画策定に関するものであり、経営戦略に関する事務は、下水道事業に特化したより詳細な経営戦略に関するものである。	0	財政計画策定事務は、下水道事業を含めた市全体の財政計画策定に関するものであり、経営戦略に関する事務は、下水道事業に特化したより詳細な経営戦略に関するものである。				
	点 点 検 ・ 改	下水道 には膨 の下水	経営戦略は、公営企業会計移行前に策定したものであり、移行後の実態に応じて見直した上で 事業の効率化や健全化を図るための根拠となる計画として活用する必要があるが、策定・見直し 大なデータ整理、更新、推計等を行う必要があることや専門的な知識が必要となることから、現在 道課の職員体制では対応できず、また、市の緊急財政対策計画期間中でもあり、外部委託する なかったため、見直しを行うことができなかった。	下水道整理、	直事業の効率化や健全化を図るための根拠となる計画として活用する必要があるが、膨大なデータ 更新、推計等を行う必要があり、現在の下水道課の職員体制では対応できず、また、公認会計				
	善 結 果 改善の方向性	のである たロー I	職は、下水道事業の計画的経営を推進し、将来にわたり事業を安定的に継続する上で必要なもること、また、策定後も定期的に下水道使用料改定の必要性を検証し、経費回収率向上に向けマップを策定の上、公表することが令和7年度以降の社会資本整備総合交付金の交付要件とな通知が国から出されていることから、令和6年度までに外部委託等により見直しを行う。	職員体	本制では対応できないため、公認会計士、税理士等の専門業者に委託して策定・見直しを行うと				

シートNo.	0434201	事務事業名	下水道ストックマネジス	メント事業		部•課•係	都市建設部	下水道課	工務係	
事業No.	J004383	開始年度	平成29年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P203A	作成責任者	下水道課長	1/2ページ

	Te way t		A 46 - 4-1-1						1					
		児点で下水道施設全体の [。] の点検・調査、修繕・改築						立付けを行ったつ				R03年度	R04年度	
事業の目的	んて、旭政	· 以 点 快 ⁻ 讷 且 、 修 倍 ⁻ 以 未	の計画で来る	とし ド 水 追	心ではいてき	t nh IP 도 ISI	0				当初予算	10,010	16,000	
TAWHE)											補正予算		700	
									予算額·	予算	前年度から繰越	1,050	288	
	下水道スト	、ックマネジメント計画を策定	ዸし、修繕・改	攻築時計画	に沿って下ス	k道施設の	長寿命化を図る	, ,	執行額	状況	翌年度へ繰越	▲ 288	▲ 5,228	
									(単位:千円)		予備費等	4,960	0	
古坐極西											計	15,732	11,760	
事業概要											執行額	13,675	10,574	
											執行率(%)	87%	90%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	下水道スト	、ックマネジメント支援制度								国	庫支出金	5,525	2,644	防災安全交付金
根拠法令、										県:	支出金			
関係計画、										使	用料•手数料			
通知等											担金・負担金等			
							R05年度	R06年度			<u> </u>			
活動目標及び	AT SELLE IN	ストックマネジメント計画策定		単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			入金	1		
活動実績1 (アウトプット)	活動指標	エリア	活動実績	ha	1,179	1,179					収入			
(アントノット)			当初見込	ha	1,179	1,179	1,179			繰	越金			
工业口标3.76				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		地	方債	10,200	9,100	
活動目標及び 活動実績2	活動指標			半位	RUS平及	R04平及	活動見込	活動見込		<u> </u>	般財源	7	16	
/ カラス模と (アウトプット)	/口到7日1示		活動実績	-	-	-			予算内訳		計	,	11,760	
()))			当初見込	-	-	-	_		(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度				<u> </u>	事請負費	15,732	11,760	
単位当たり	かく羊 コトや尓	内容がその都度違うため、コス	単位当たり コスト	-	-	-								
コスト		内各がその都及遅 <i>り</i> ため、コス 切ではない。	計算式	X/Y	-	-								
		ストックマネジメント計画の修		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度						
		繕・改築計画に沿って工事を 行う。	成果実績	箇所	27	35	- 年度	- 年度						
成果目標及び		1370	日標値	箇所	36	41	_			-				
成果実績1	成果指標	マンホール蓋取替	達成度	· ///	75	85	-	-						
(アウトカム)										L	計	15,732	11,760	
	補足説明	目標値の算出は、当初予算	と繰越予算の	合算金額を	、1箇所当たり)の盍取替費	用を25万と仮定し	ノ(割つた値。		正職員	1	0.1	0.2	
		て用いた							投入工数	再任月		0	0	
	統計・デー	タ名(出典)							(単位:人)		F度月額	0	0	
				単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度	(平位.人)	会計年	F度日額	0	0	
	成果目標	-	A m = 1/4			1 7 7	- 年度	- 年度	1 10	計	[/ 	0.10	0.20	
帝国口福文 "			成果実績		_	-	_	_			+(千円)	740 14.415	1,480 12.054	
成果目標及び 成果実績2	成果指標	-	目標値 達成度	- %			_	_		費用(<u>+円)</u> ≩正(千円)	14,415	12,054	
ルステ頼と (アウトカム)			进队及	70		_	-	_			(十円) (件費等修正後	14.415	12.054	
(7 7 1 7324)	補足説明	-							400 3€./13 \	4////	·… 风 寸 炒 止 风	14,410	12,004	
		I で用いた タ名(出典)												
	чусы 1	/ L \LIK/							ļ					

シートNo. 0434201	事務事業名	下水道ストックマネジメン		部·課·係	都市建設部	下水道課	工務係	
事業No . J004383	開始年度	平成29年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P203A	作成責任者 下7	k道課長	2/2ページ

項 目	207 Pm	令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
	評価	評価に関する説明	評価	
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	下水道管理者が管理する下水道施設維持のためであり、市で実施する必要がある。	-	下水道管理者が管理する下水道施設維持のためであり、市で実施する必要がある。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	直正な入札により業者が選定され、工事・業務を実施している。	0	適正な入札により業者が選定され、工事・業務を実施している。
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	マンホールポンプの取替は、特定の業者でなければできない工事のため随意契約としている。
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		有	
受益者との負担関係は妥当であるか。	-	下水道管理者が管理する下水道施設維持のためであり、市で実施する必要がある。	-	下水道管理者が管理する下水道施設維持のためであり、市で実施する必要がある。
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	修繕・改築内容がその都度違うため、コスト設定は適切ではない。	-	修繕・改築内容がその都度違うため、コスト設定は適切ではない。
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され ているか。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	_		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	=	工事実施において、工事条件・工法・施工内容などにより適切に行われている。	-	工事実施において、工事条件・工法・施工内容などにより適切に行われている。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0		0	
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	=	ストックマネジメント計画の修繕・改築計画に沿って行う工事のため、ほかの手段・方法は考えられない。	-	ストックマネジメント計画の修繕・改築計画に沿って行う工事のため、ほかの手段・方法は考えられない。
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	0		0	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	下水道施設の維持及び管理をすることで、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに生かされている。	0	下水道施設の維持及び管理をすることで、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに生かされている。
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)				
課名	_		-	
事業名				
事来石 点 検 点検結果 ・ 改	よる事	 ・空理する下水道施設も老朽化が進んできており、耐用年数を超える施設が出てきている。老朽化に 故を未然に防くためにも、下水道ストックマネジメント計画に沿ってマンホール蓋取替を行っている。 ・、マンホール蓋だけでなく管路も対象としたストックマネジメント計画に変更する必要があるが、下水 なを修繕・改築するためには膨大な予算が必要となる。	よる事	故を未然に防ぐためにも、下水道ストックマネジメント計画に沿ってマンホール蓋取替を行っている
善 結 ・改善の方向性		iストックマネジメント計画を変更しながら、予算の平準化を図り、計画的に点検・調査・修繕・改施する事で、未然に事故を防止する。		道ストックマネジメント計画を変更しながら、予算の平準化を図り、計画的に点検・調査・修繕・改 R施する事で、未然に事故を防止する。

シートNo. 0434202		寺及び管理に関する事務		都市建設部	下水道課	工務係	
事業No . J000416	開始年度 昭和60年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P2032	作成責任者 下水道課長		1/2ページ

	1/14-1/	ナナースの+後かよごかにナムフ	こして サネ	+ + :T=	±±" <i>0H</i> ++ − .	t-7				ı		D00/F/F	D0.4 57 57	
	公共下水	道施設の機能が確保される	ことで、快適	は生活境	見か維持で	≅ る。					V + 2 2 25	R03年度	R04年度	
事業の目的											当初予算	60,717	48,445	
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •											補正予算	11,517		
									予算額・	予算	前年度から繰越			
	快適な生活	舌環境の維持を目的とし、会	公共下水道	施設の修理	፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟ド保守・点々	倹、清掃なと	で行う。		執行額	状況	翌年度へ繰越			
									(単位:千円)		予備費等			
事業概要											計	72,234	48,445	
于未似女											執行額	48,339	42,227	
											執行率(%)	67%	87%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	下水道法								İ	国	庫支出金	5,758	7,250	防災安全社会資本整備総合交付金
根拠法令、										県	支出金			
関係計画、										使	用料•手数料			
通知等											担金·負担金等			
							R05年度	R06年度	ł		<u>定业 负担业等</u> 産収入			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			<u>屋根内</u> 入金			
活動実績1	活動指標	下水道修繕工事発注件数	活動実績	件数	32	24	70 =0 70 20	713000	1		収入			
(アウトプット)			当初見込	件数	-	-	_		-		越金			
_							R05年度	R06年度	t		25 			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	66.476	41.195	
活動実績2	活動指標	-	活動実績	-	-	-			予算内訳	-	計	72.234	48,445	
(アウトプット)			当初見込	-	-	-	-		(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
				単位	R03年度	R04年度			1	修	善 繕費	14,000	10,000	
			単位当たり				1				信運搬費	426	453	
単位当たり	佐然中京に	LN 不市 曲 が用わった ゆ ココ	コスト	_	_	_					数料	550	550	
コスト		より工事費が異なるため、コス 切ではない。					/				険料	200	210	
	1 12221012	23 C100 V 8	計算式	X/Y	-	-					託料	46,085	26,241	
		1							1		用料及び賃借料	263	263	
	-A-M-D-1#	公共下水道施設の維持及		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度			事請負費	5,500	5,500	
	成果目標	び管理を行い故障を未然に 防ぐ。	一	1st. 4st.	10	10	- 年度	- 年度		虭	力費	5,210	5,228	
成果目標及び		100 (0	成果実績 目標値	件数	19	12	-	-	1					
成朱日保及U 成果実績1	成果指標	故障発生件数	達成度	%	-		_		-					
(アウトカム)											計	72,234	48,445	
())))/	補足説明	公共下水道施設の故障発生	上件数の目標の	値は、予測で	できないため設	定できない。				正職員		0.5	0.5	
	根拠とし	て用いた							45.5 - 44.	再任月	•	0	0	
	統計・デー								投入工数		* * 度月額	0	0	
		<u>'</u>		₩ /±	D00左曲	D04/5 #	中間目標	目標最終年度	(単位:人)	会計组	丰度日額	0	0	
	成果目標	-		単位	R03年度	R04年度	- 年度	- 年度		計		0.50	0.50	
			成果実績	-	-	-	-	-			十(千円)	3,700	3,700	
成果目標及び	成果指標		目標値	-	-	-	-	-		費用(52,039	45,927	
成果実績2	**************************************		達成度	%	-	-	-	-			正(千円)			. /
(アウトカム)	補足説明	_							総費用(干	H) ※/	人件費等修正後	52,039	45,927	/
									1					
		て用いた -												
	和 ・ナー	タ名(出典)							1					

車業N。 1000416 開始年度 120160年度 2017年度 2017年度 2017	系
事業No. J000416 開始年度 昭和60年度 終了予定年度 終了予定なし 施策コード P2032 作成責任者 下水道課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善					
横口	評価	評価に関する説明	評価					
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 事	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。				
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 め め	-	下水道管理者が管理する下水道施設維持のためであり、市で実施する必要がある。	-	下水道管理者が管理する下水道施設維持のためであり、市で実施する必要がある。				
要性 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。				
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	適正な入札により業者が選定され、工事・業務を実施している。	0	適正な入札により業者が選定され、工事・業務を実施している。				
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	緊急性の高い修繕や特定の業者でなければできない工事・業務の場合は、随意契約としている。	無	一緊急性の高い修繕や特定の業者でなければできない工事・業務の場合は、随意契約としている。				
競争性のない随意契約となったものはないか。	有		有					
受益者との負担関係は妥当であるか。	_	下水道管理者が管理する下水道施設維持のためであり、市で実施する必要がある。	_	下水道管理者が管理する下水道施設維持のためであり、市で実施する必要がある。				
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	=	修繕内容により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。	-	修繕内容により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。				
▼ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され *** ** ** ** ** ** ** ** **	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道施設の維持及び管理は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	=		-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	0	工事実施において、工事条件・工法・施工内容などにより適切に行われている。	0	工事実施において、工事条件・工法・施工内容などにより適切に行われている。				
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0		0					
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	_	状況に応じた修繕を実施するため、ほかの手段・方法は考えられない。	-	状況に応じた修繕を実施するため、ほかの手段・方法は考えられない。				
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 カ	=	公共下水道施設を維持及び管理するのに必要な修繕工事の目標値は、予測できないため設定できない。	-	公共下水道施設を維持及び管理するのに必要な修繕工事の目標値は、予測できないため設定できない				
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	下水道施設の維持及び管理をすることで、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに生かされている。	0	下水道施設の維持及び管理をすることで、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに生かされている。				
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名								
連番								
点 検 点検結果 ・	下水道	施設も耐用年数を超えるものが出てきており、今後も適切に維持管理を行っていく。	下水道	が 道施設も耐用年数を超えるものが出てきており、今後も適切に維持管理を行っていく。				
は 善 結 果 改善の方向性	維持管	音理計画を作成し、適切に維持管理することで事故が発生することのないようにする。	維持管	管理計画を作成し、適切に維持管理することで事故が発生することのないようにする。				

シートNo. 0434203	事務事業名	公共下水道整備事		部·課·係	都市建設部	下水道課	工務係	
事業No . J001082	開始年度	昭和60年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P2032	作成責任者 下水道課長		1/2ページ

	I	*******	+++++*		マン・カー・カー・カー・カー・カー・ファイン・カー・ファイン・カー・ファイン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	114 O TV ====		-1. ±A.4台 の まか '**	T			1		
	大雨による	道路冠水・床上床下浸水 まの	. 俄吾を防き、	女全で快	週な生沽境	現の形成を	日的として、雨	水軒線の整備				R03年度	R04年度	
事業の目的	で大心する	100°									当初予算	27,000	21,300	
TA											補正予算		10,610	
									予算額·	予算	前年度から繰越		3,792	
		や床上床下浸水被害を防							執行額	状況	翌年度へ繰越		▲ 18,074	
	現在、事業	美実施中の雨水幹線は、Ⅰ	- 尻川雨水軒	ネ線・中央№	肉水幹線で	ある。			(単位:千円)		予備費等			
古 继 柳 亦											計	27,000	17,628	
事業概要											執行額	12,135	17,572	
											執行率(%)	45%	100%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	下水道法									国	庫支出金		12,396	防災安全交付金
根拠法令、	都市計画	法								県	支出金		,	
関係計画、											用料•手数料			
通知等											担金・負担金等			
							R05年度	R06年度			产业(英产业等)) 産収入			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			性权人 入金	1		
活動実績1	活動指標	中央雨水幹線整備延長	活動実績	m	-	-	加勁ルス	70 30 70 20			<u>火业</u> 収入			
(アウトプット)			当初見込	m	-	-	_				越金			
							R05年度	R06年度			 方債		5.200	
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			般財源	27,000	32	
活動実績2 (アウトプット)	活動指標		活動実績						予算内訳	予算内訳		27,000	17,628	
(プリアンット)			当初見込						(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度				I I	事請負費			
			単位当たり	_	_	_				委	託料	27,000	17,628	
単位当たり	1月世冬 (小や	施工工法により工事費が異	コスト											
コスト		スト設定は適切ではない。					/							
			計算式	X/Y	-	-								
		1					中間目標	目標最終年度		l —		1		
	成果目標	雨水幹線を計画的に整備し		単位	R03年度	R04年度	- 年度	日保取於平及 - 年度		<u> </u>				
	从木口际	ていく。	成果実績	m	_	_	一一	- 一人		 -				
成果目標及び		中央雨水幹線累積整備延	目標値	m	-	_	-	_						
成果実績1	成果指標	長	達成度	%	-	-	-	-						
(アウトカム)	補足説明	中央雨水幹線は、令和3年	度に基本設計:	を行い、令和	04年度に実施	施設計、令和	5年度に用地買り	又、令和6年度か			計	27,000	17,628	
	無足說明	ら工事着工を予定している。								正職員	1	0.3	0.4	
		て用いた							投入工数	再任月		0	0	
	統計・デー	9名(出典)							(単位:人)		F度月額	0	0	
				単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度	·Τμ./•/	会計年	F度日額	0	0	
	成果目標		+用由件	. –			年度	年度	1 14	計 本 A =	L/~m\	0.30	0.40	
改田口福水で			成果実績 目標値		1			1			ト(千円) エロ/	2,220 14.355	2,960 20.532	
成果目標及び 成果実績2	成果指標		日標但 達成度	%	-					費用(十円) [正(千円)	14,355	20,532	
ルネチ積2 (アウトカム)			连队员	70			L	<u> </u>			(十円) (件費等修正後	14.355	20.532	
()) [() [() [() [() [() [() [()	補足説明	胡					一の見の「	1/78/	NII 具寸砂止议	14,300	20,032			
	根拠とし	て用いた												
		タ名(出典)												
									Į.					

	o. 0434203		公共下水道整備事業			部·課·係	都市建設部	下水道課	工務係	
事業N	J001082	開始年度	昭和60年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P2032	作成責任者	下水道課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
	評価	評価に関する説明	評価	
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 事	0	浸水対策は、安全で快適な市民生活を実現するために不可欠な事業であり、適切である。	0	浸水対策は、安全で快適な市民生活を実現するために不可欠な事業であり、適切である。
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 な	-	下水道事業者が行う工事のため、市で実施する必要がある。	-	下水道事業者が行う工事のため、市で実施する必要がある。
要 主 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	浸水対策は、安全で快適な市民生活を実現するために不可欠な事業であり、適切である。	0	浸水対策は、安全で快適な市民生活を実現するために不可欠な事業であり、適切である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	適正な入札により業者が選定され、業務を実施している。	0	適正な入札により業者が選定され、業務を実施している。
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
受益者との負担関係は妥当であるか。	-	下水道事業者が行う工事のため、市で実施する必要がある。	-	下水道事業者が行う工事のため、市で実施する必要がある。
を 単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	現場条件や施工工法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。	-	現場条件や施工工法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	浸水対策は、安全で快適な市民生活を実現するために不可欠な事業であり、適切である。	0	浸水対策は、安全で快適な市民生活を実現するために不可欠な事業であり、適切である。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	-		-	
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0		0	
ま業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-	
「成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 」	0		0	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	雨水幹線を整備することで、安全で快適な市民生活の実現に生かされている。	0	雨水幹線を整備することで、安全で快適な市民生活の実現に生かされている。
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名			_	
連番				
事業名	治 败写	 水や床上床下浸水被害を防ぐために雨水幹線を改修している。今後も継続して事業を進める必	治 败 5	┃ ♂水や床上床下浸水被害な防ぐために雨水於線を改修している。会後±線縒□で重要も進め
点 検 ・ ・ 改	要があ		要があ	
善 結 果 改善の方向性	雨水乾	徐線の老朽化や計画断面より小さい箇所が多いため、計画的に事業を推進していく必要がある。	雨水草	冷線の老朽化や計画断面より小さい箇所が多いため、計画的に事業を推進していく必要がある

シートNo. 0434204	事務事業名	公共下水道整備事		部·課·係	都市建設部	下水道課	工務係	
事業No . J001083	開始年度	平成6年度	終 了予定年度 令和7年度	施策コード	P2032	作成責任者 下水道課長		1/2ページ

	中央では:	適な生活環境の形成及び 3	ラ洋川たどのこ	त्ता ।।। उठ ७४५	よりはなりま	/ 毎年沈の『	ヒルを日めたして	マル 当 市 幸				DOOÆ庇	D0.4左座	
		回は生活環境の形成及び3 5ものである。	医神川はくの)	MINIXU	_の心寺の7	良力未の	い一条日からり	.、广小坦尹未			가 가 ~ ~	R03年度	R04年度	
事業の目的		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									当初予算	600,000	584,000	
•											補正予算			
									予算額・	予算	前年度から繰越	22,500	91,654	
		業認可区域のうち、下水道						する。	執行額	状況	翌年度へ繰越	▲ 42,884	▲ 161,969	
	ト水坦を	利用する市民が増えることで	、生沽埬項()	の改善及の	公共用水平	以の水質保3	主につなかる。		(単位:千円)		予備費等	▲ 4,960		
車業福田											計	574,656	513,685	
事業概要											執行額	509,640	510,116	
											執行率(%)	89%	99%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	下水道法								•	国	車支出金	145,000	162,442	社会資本整備総合交付金
	都市計画	法								県	支出金			
関係計画、										使	用料•手数料			
通知等											担金・負担金等	13.921	13.747	受益者負担金
							R05年度	R06年度			医亚 黄疸亚寸 奎収入	10,021	10,717	
活動目標及び		宝満川流域関連公共下水		単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			工化八 入金			
活動実績1	活動指標	道事業整備面積	活動実績	ha	540	540	71120702	70.2000			<u> </u>			
(アウトプット)			当初見込	ha	540	540	540				越金			
				W /I			R05年度	R06年度			 方債	415,700	337,400	
活動目標及び		筑後川中流右岸流域関連		単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込		<u> </u>	般財源	35	96	
活動実績2 (アウトプット)	活動指標	公共下水道事業整備面積	活動実績	ha	759	766			予算内訳			574,656	513,685	
(プラトンット)			当初見込	ha	748	768	788		(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度					事請負費	524,656	425,685	
			単位当たり	_	_	_					託料	30,000	68,000	
単位当たり	現場冬件や	施工工法により工事費が異	コスト							補	賞、補填及び賠償金	20,000	20,000	
		スト設定は適切ではない。												
			計算式	X/Y	-	-				_				
							中間目標	目標最終年度		-				
	成里日煙	下水道整備面積が認可面 積になるよう計画的に工事を		単位	R03年度	R04年度	- 年度	R07 年度						
	/W/X L1 //K	実施していく。	成果実績	%	97	97	-	-						
成果目標及び	-A III 4- III	宝満川流域関連公共下水	目標値	%	97	97	_	100						
成果実績1	成果指標	道事業整備率	達成度	%	100	100	-	-						
(アウトカム)	補足説明	宝満川流域関連公共下水道	首重業の救機を	ナベきマはい	ナ 丁事宗で	.ている					計	574,656	513,685	
			旦 尹木の定備 9	っいこ 企場に	、 工 尹 兀 亅	している。				正職員		2.5	3	
		て用いた たな(山曲) 下水道事業普及	 及の状況						投入工数	再任月		0.15	0	
	統計・テー	ダ石(山典)							(単位:人)		度月額	0	0	
		下水道整備面積が認可面		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		会計年	度日額	0 00	0	
		積になるよう計画的に工事を 実施していく。	成果実績	%	81	82	- 平度	7 年度	1 14	計 多 今 2	(千円)	2.65 19.160	3.00 22.200	
成果目標及び		筑後川中流右岸流域関連	成未美棋 目標値	<u>%</u>	80	82	_	100		費用(528.800	532,316	
成果実績2	成果指標	巩俊川中流石岸流域関連 公共下水道事業整備率	達成度	%	100	100	-	-			<u> </u>	020,000	332,310	
(アウトカム)	14 F = V	2002						1			· 件費等修正後	528.800	532.316	
	補足説明								,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,		525,500	552,510	•
	1107-20077													
	根拠とし	 	あの壮 湿											

シートNo . 0)434204	事務事業名	公共下水道整備事業	業(汚水)		部·課·係	都市建設部	下水道課	工務係	
事業No . J	J001083	開始年度	平成6年度	終了予定年度	令和7年度	施策コード	P2032	作成責任者	下水道課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
4 E	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	0	下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	下水道事業者が行う工事のため、市で実施する必要がある。	-	下水道事業者が行う工事のため、市で実施する必要がある。
度 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	適正な入札により業者が選定され、工事・業務を実施している。	0	適正な入札により業者が選定され、工事・業務を実施している。
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
受益者との負担関係は妥当であるか。	-	下水道事業者が行う工事のため、市で実施する必要がある。	_	下水道事業者が行う工事のため、市で実施する必要がある。
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	現場条件や施工工法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。	_	現場条件や施工工法により工事費が異なるため、コスト設定は適切ではない。
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され ているか。	0	下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	0	交通誘導に関する地元協議に不測の日数を要したため。	0	交通誘導に関する地元協議に不測の日数を要したため。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	0	工事実施において、工事条件・工法・施工内容などにより適切に行われている。	0	工事実施において、工事条件・工法・施工内容などにより適切に行われている。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0		0	
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-	
「成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 」	0		0	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	下水道を整備することで、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに生かされている。	0	下水道を整備することで、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに生かされている。
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)				
連番事業名	_		_	
] 宣未整備地区を下水道が利用できるように工事を実施した。下水道未整備地区がまだ多く残って 合和7年度末までに下水道整備が完了するよう事業を行っていく。		 賃未整備地区を下水道が利用できるように工事を実施した。下水道未整備地区がまだ多く残って 令和7年度末までに下水道整備が完了するよう事業を行っていく。
善 結 果 改善の方向性		年度末までに下水道整備を完了する必要があるため、残事業を確認しながら各年度の事業費がいように事業量の平準化を図る。		年度末までに下水道整備を完了する必要があるため、残事業を確認しながら各年度の事業費がいように事業量の平準化を図る。

シートNo.	0434205		合併処理浄化槽設置		部∙課∙係	都市建設部	下水道課	工務係	
事業No.	J001084	開始年度	平成3年度	終 了予定年度 終了予定なし	施策コード	P103A	作成責任者 下水道	課長	1/2ページ

11 1.54	*=====================================	hn 700 1/2 // 1/4	±=n == ±=	A	=+ + /- 1-4 5	· ^ + + // + = /	_						
助金で文 ながる。	in y ることし、ロ iff処理/F	でに借い改画	北上にノ	3かり土/占塚	現の以音が	ひび共用小塚	の小貝休主に				2,537	2,537	
.073 00													
								予算額·	予算				
			者に対して	、申請書類	を審査し現	地検査を行う。		執行額	状況	翌年度へ繰越			
			145 TE III					(単位:千円)		予備費等			
										計	2,537	2,537	
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,		,,,,,,,							執行額	1,937	1,217	
										執行率(%)	76%	48%	
										歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
化槽法									国厂	車支出金	497	497	循環型社会形成推進交付金
									県:	支出金	497	497	福岡県浄化槽整備事業補助金
									使	用料•手数料			
											1		
						R05年度	R06年度						
			単位	R03年度	R04年度								
古動指標	受付件数	活動実績	件	4	2								
		当初見込	件	4	4	4			繰	越金			
			3X IT	D00/∓#	D04年中	R05年度	R06年度		地	 方債			
工作4十七十五			単 12	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込		— j	投財源	1,543	1,543	
古期拍標	-	活動実績	-	-	-			予算内訳		計	2,537	2,537	
		当初見込	-	-	-	-		(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
	算出根拠		単位	R03年度	R04年度				負担	日金、補助及び交付金	2,520	2,520	
助内突(5	•7•10人槽 ト垂せ補助)が	単位当たり コスト	-	-	-								
		計算式	X/Y	-	-								
+ 田口 +番	令和2年度~令和6年度ま		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度						
火木口 惊	でに20件	成里宝績	件	4	2		0 平及						
	合併処理海化槽設置費補					_	4						
灰果指標	助交付件数	達成度	%	100	50	-	-		70)他	17	17	福岡県浄化槽推進協議会会費
+ C = 4 no						I.				 計	2,537	2,537	
用正武明									正職員	Į	0.1	0.1	
		F 平:1									0	0	
充計・データ	2名(出典) ロースのアチリ	2.47						(MA A. I.)			0		
型口田生			単位	R03年度	R04年度			Ψ	会計年	- 度日額	0.10	ŭ	
以未日標	-	- 古田宝结						1 14	計	(全面)			
				_	_	_							
	-	達成度	%	-	_	-	_				2,077	1,337	
							1	- 人件費等の修正(千円) 総費用(千円)※人件費等修正後			1		
甫足説明	_							総費用(千	円)※人	、件費等修正後	2,677	1,957	
浦足説明 根拠とし	-							総費用(千日	円)※人	、件費等修正後	2,677	1,957	
は、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	助か	助金を交付することで、合併処理浮かる。 共下水道認可区域外の合併処理と構設置工事確認後に補助金を対象額:5人槽30万円、7人槽38万米。 大橋30万円、7人槽38万米。 大橋30万円、7人槽38万米。 大橋30万円、7人槽38万米。 大橋30万円、7人槽38万米。 大橋30万円、7人槽38万米。 大橋30万円、6人標、上乗せ補助が変換に異なるため、コスト設定は適切でになる。 「たて20件型を存在でに20件型を付件数と表説明を対象では、10人間	助金を交付することで、合併処理浄化槽の設置はかる。 中下水道認可区域外の合併処理浄化槽設置と槽設置工事確認後に補助金を交付する。 助金額:5人槽30万円、7人槽36万円、10人槽水道区域外の方にはさらに30万円の上乗せ補助水道区域外の方にはさらに30万円の上乗せ補助を持ちによる。 事情標果	助金を交付することで、合併処理浄化槽の設置促進につれがる。 中下水道認可区域外の合併処理浄化槽設置者に対して と構設置工事確認後に補助金を交付する。 助金額:5人槽30万円、7人槽36万円、10人槽45万円 水道区域外の方にはさらに30万円の上乗せ補助を行う。 と槽法 単位 当初見込 件 単位 当初見込 ー は位当たり ー コスト を毎に異なるため、コスト設定は適切でにい。 は 令和2年度~令和6年度までに20件 果指標	サンタック (5・7・10人槽、上乗せ補助)が を存に異なるため、コスト設定は適切でにいる。 中 (10人間 を) でに20件 単位 R03年度 R03年	助金を交付することで、合併処理浄化槽の設置促進につながり生活環境の改善及がる。 中下水道認可区域外の合併処理浄化槽設置者に対して、申請書類を審査し現と槽設置工事確認後に補助金を交付する。 助金額:5人槽30万円、7人槽36万円、10人槽45万円 水道区域外の方にはさらに30万円の上乗せ補助を行う。 と槽法 単位 R03年度 R04年度 当初見込 件 4 2 当初見込 件 4 4 単位 R03年度 R04年度 「活動実績 ー ー ー 当初見込 ー ー ー は R03年度 R04年度 単位当たり ー ー コスト ー ー 計算式 X/Y ー ー にい。 東目標 令和2年度~令和6年度までに20件 成果実績 件 4 2 目標値 件 4 4 財交付件数 定成度 96 100 50 足説明 根拠として用いた計・データ名(出典) 各年度の予算資料 果目標 ー	加金を交付することで、合併処理浄化槽の設置促進につながり生活環境の改善及び公共用水域がる。 中下水道認可区域外の合併処理浄化槽設置者に対して、申請書類を審査し現地検査を行う。 り金額:5人槽30万円、7人槽36万円、10人槽45万円 大道区域外の方にはさらに30万円の上乗世補助を行う。 と槽法 単位 R03年度 R04年度 活動見込 単位 R03年度 R04年度 活動見込 単位 R03年度 R04年度 活動見込 「	共下水道認可区域外の合併処理浄化槽設置者に対して、申請書類を審査し現地検査を行う。 と槽設置工事確認後に補助金を交付する。 助金額:5人槽30万円、7人槽36万円、10人槽45万円、 水道区域外の方にはさらに30万円の上乗せ補助を行う。 と槽法 単位 R03年度 R04年度 活動見込 活動見込 件 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	加金を交付することで、合併処理浄化槽の設置促進につながり生活環境の改善及び公共用水域の水質保全にがる。 ***********************************	加金を交付することで、合併処理浄化槽の設置促進につなが9生活環境の改善及び公共用水域の水質保全にか3。。 **********************************	加金を交付することで、合併処理浄化権の設置促進につながり生活環境の改善及び公共用水域の水質保全にかいる。 ・	助金を女付することで、合併処理浄化槽の設置促進につながり生活環境の改善及び公共用水域の水質保全に がる。 ・	助金を交付することで、合併処理浄化構の設置促進につなが9生活環境の改善及び公共用水域の水質保全に が5.6。 「中下水道認可区域外の合併処理浄化構設置者に対して、申請審類を審査し現地検査を行う。 は構設置工事報認後に補助金を交付する。 か金額1.5人権の万円、1人人権45万円、 が出版 (単位:千円) 「日本 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本

	/ートNo.	0434205		合併処理浄化槽設置			部·課·係	都市建設部	下水道課	工務係	
3	事業No.	J001084	開始年度	平成3年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P103A	作成責任者	下水道課長	2/2ページ

_					
	項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
		評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	0	合併処理浄化槽の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	合併処理浄化槽の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。
事業の必要	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	ı	補助金交付のため、行政以外にはできない事業である。	_	補助金交付のため、行政以外にはできない事業である。
要性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	合併処理浄化槽の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	0	合併処理浄化槽の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
事	受益者との負担関係は妥当であるか。	0	合併処理浄化槽設置のための補助金交付であり適切である。	0	合併処理浄化槽設置のための補助金交付であり適切である。
業の効	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	ĺ	補助内容(5・7・10人槽、上乗せ補助)が年度毎に異なるため、コスト設定は適切ではない。	-	補助内容(5・7・10人槽、上乗せ補助)が年度毎に異なるため、コスト設定は適切ではない。
率性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	合併処理浄化槽設置のための補助金交付であり適切である。	0	合併処理浄化槽設置のための補助金交付であり適切である。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	0	補助申請件数が年度毎に異なるため妥当である。	_	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		_	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	1	要綱に沿って受付・交付を行っているため、ほかの手段・方法は考えられない。	_	要綱に沿って受付・交付を行っているため、ほかの手段・方法は考えられない。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0		0	
業の古	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	要綱に沿って受付・交付を行っているため、ほかの手段・方法は考えられない。	-	要綱に沿って受付・交付を行っているため、ほかの手段・方法は考えられない。
有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	0	人以加州的北北北部	0	A. (A. In 1970年) 1. 建氯甲烷 (安宁) 1. T. I. T.
12	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	合併処理浄化槽設置後、適正に利用されている。	0	合併処理浄化槽設置後、適正に利用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名 連番 事業名	-		-	
	点 檢 点検結果 ・ 改		5合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に沿って受付・交付を行っており、今後も適正 を行っていく。		5合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に沿って受付・交付を行っており、今後も適正 を行っていく。
	善結 結 果 改善の方向性	広報や	ホームページを活用し、補助の概要や要件を周知する。	広報や	ホームページを活用し、補助の概要や要件を周知する。

シートNo. 0434206		事業認可に関する事		部·課·係	都市建設部	下水道課	工務係		
事業No . J000422	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和17年度	施策コード	P2032	作成責任者	下水道課長	1/2ページ

												-		
		適な生活環境の形成、及び! ま計画は及び下水道はに其				汚染の防止	のために下水道	の整備を目的				R03年度	R04年度	/
事業の目的	として、都に	市計画法及び下水道法に基	うさ区域の別	ル尤を凶る	も のである。						当初予算			
テ木ツロの											補正予算			
									予算額・	予算	前年度から繰越			
	下水道全	体計画のうち認可区域外に	なっている地域	或を概ね54	Fで整備する	る区域を新た	に認可区域とし	て追加するた	執行額	状況	翌年度へ繰越			
	めの事務手	₣続き。							(単位:千円)		予備費等			
											計	0	0	
事業概要							執行額		-					
											執行率(%)			
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	≯7士= ↓届:	法、下水道法									<u>- 戚ハァ昇</u> 庫支出金	RUS平及	N04千茂	104年度の主な収入内部(石が寺)
根拠法令、	10111111111111111111111111111111111111	云、 下小坦 云												
関係計画、										****	支出金			
通知等											用料•手数料			
											担金·負担金等			
洋動日煙 ひが		1		単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			産収入			
活動目標及び 活動実績1	活動指標	宝満川流域関連公共下水		平 四	100千茂	1104千段	活動見込	活動見込			入金			
/月刻天候! (アウトプット)	/自到1日1宗	道事業認可面積	活動実績	ha	557	557					収入			
()))		当初見込 ha 557 557 557		越金										
工业口标工作		動指標 筑後川中流右岸流域関連 公共下水道事業認可面積 単位 R03年度 R04年度 R05年度 活動見込 活動見込 当初見込 ha 939 939 939 当初見込 ha 939 939 939		単位	P03年度	P04年度	R05年度	R06年度			方債			
活動目標及び 活動実績2				412	1100千皮	1107千段	活動見込	活動見込		<u> </u>	般財源			
/日刻天横∠ (アウトプット)	/自到7日1宗		活動実績	ha	939	939					計	0	0	
()))				歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途							
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度								
単位当たり			単位当たりコスト	-	-	=								
776		、法手続きの事務作業のた 定は適切ではない。	計算式	X/Y	-	-								
		令和7年度に宝満川流域関		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度						
	成果目標	連公共下水道事業進捗率 を100%まで引き上げる	/				- 年度	R17 年度						
-A =		210070&C712±176	成果実績	ha	557	557	=	-		<u> </u>				
成果目標及び 成果実績1	成果指標	下水道事業率	目標値 達成度	ha %	557 100	557 100	-	557 –		-				
ルステ模! (アウトカム)			连队及	70	100	100					計	0	0	
(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	補足説明									正職員		0.3	0.1	
		て用いた 下水道事業普及	め状況						投入工数	再任月		0	0	
	初計・ナー	データ名(出典)					中間目標	目標最終年度	(単位:人)		F度月額 F度日額	0	0	
		令和7年度に筑後川中流右		単位	R03年度	R04年度	中间日標 - 年度	日保取於平及 R17 年度		計	H 及 口 创	0.30	0.10	
	成果目標	岸流域関連公共下水道事 業進捗率を100%まで引き上	"리카 H			\vdash	一一人	, 구及		H1				
帝田口福元・		ifa	成果実績	ha	939	939	=	=	人們	費合計	十(千円)	2,220	740	
成果目標及び 成果実績2	成甲化槽	下水道車業家	目標値	ha	1,212	1,212	-	1,212		費用(2,220	740	
ルスティ (アウトカム)	八 未 拍 標	下水道事業率	達成度	%	77	77	1	-	人件費等の					
(補足説明	下水道全体計画面積を目標ではない農地については、編入	値としているが、 しないことと指	、県の農政协 連を受けて!.	協議により、全	体計画区域	内であっても認可! はならない。	区域に入れるべき	総費用(千	円)※人	件費等修正後	2,220	740	
	根拠とし	7円いた		.,	5 207, 2270									
		タ名(出典) 下水道事業普及	ひ状況											

シートNo. 0434206		事業認可に関する事務				都市建設部	下水道課	工務係	
事業No . J000422	開始年度	昭和59年度 i	終了予定年度	令和17年度	施策コード	P2032	作成責任者	下水道課長	2/2ページ

- n		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善				
項目		評価に関する説明	評価に関する説明				
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している		下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。		下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。			
か。	0		0				
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。		下水道事業者が行う法手続きのため、市で実施する必要がある。		下水道事業者が行う法手続きのため、市で実施する必要がある。			
S SINTERIOR CONTROLS	-		-				
2							
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。		下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。		下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。			
・ 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0		0				
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-				
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロ							
ポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募	無		無				
となったものはないか。							
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無				
受益者との負担関係は妥当であるか。		下水道事業者が行う法手続きのため、市で実施する必要がある。		下水道事業者が行う法手続きのため、市で実施する必要がある。			
	-		_				
単位当たりコスト等の水準は妥当か。		当該事業は、法手続きの事務作業のため、コスト設定は適切ではない。		当該事業は、法手続きの事務作業のため、コスト設定は適切ではない。			
	-		-				
カー オーサー・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され		下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。	1	下水道の整備は、ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくりに不可欠な事業であり、適切である。			
でいるか。	0		0				
* 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に	1		-				
記載)	-		-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に	+		1				
記載)	-		-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている		 法手続きに沿って、適正に事務を行っている。	-	 法手続きに沿って、適正に事務を行っている。			
での他コスト門派で効率にに向けた工夫は打力れている。	0	/公子がたに/ロッと、旭正に手坊で11ッといる。	0	公子がでに行うて、胆正に手動を行うている。			
1. 4	-		-				
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0		0				
■ ■ 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと	-	 法手続きのため、ほかの手段・方法は考えられない。	-	 法手続きのため、ほかの手段・方法は考えられない。			
しい おして いか 田 かとていけばココーズ中 かっさていてか	-	法子続さのだめ、ほかの子段・万法は考えられない。	_	法子続きのだめ、ほかの子校・万法は考えられない。			
	 		-				
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	0		0				
		- 1. W = # = / - 1 1. W = + = 27 (- # o + 4.27 (n + 6 - 1.27					
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	下水道事業を行う上で、必要な事務作業のため活用されている。	0	下水道事業を行う上で、必要な事務作業のため活用されている。			
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を							
行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)							
課名			_				
連番	_						
事業名							
	下水道	[事業を行う上で必要な法手続きのため、今後も認可区域拡大に向けた適正な業務を行っていく。	下水道	重事業を行う上で必要な法手続きのため、今後も認可区域拡大に向けた適正な業務を行っていく。			
点							
検 点検結果							
•							
改	 		1				
養		「域拡大の変更内容の把握に努める。		区域拡大の変更内容の把握に努める。			
結 改善の方向性		「可変更の前に県の認可変更が行われる場合がある。関連市町に照会がくるが関係部局(都市計 ないとの東京投資表し、ハラスナーストンにより、東京大阪、投資書類によったりの業務系式を実施。		ママ東の前に県の認可変更が行われる場合がある。関連市町に照会がくるが関係部局(都市計画などのできた)			
果 以三00月月1日	画、農	政)との事前協議を十分に済ましておくことが必要なため、協議書類作成のための業務委託を実施	囲、炭 する。	以/Cの争削協議を下方に済ましてがくとか必要なため、協議書類作成のための業務委託を実施			